

OF-5

5度の手術と乳房再建 1800日

生稲 晃子（女優）

年に1度は必ず受けていた自治体の無料検診。しかし、2010年は仕事や子供の世話などで日々慌ただしく過ごしていて、受けることができませんでした。「来年また受ければいいや」と暢気に考えていた私でしたが、知人から人間ドックを勧められ、予約を入れることになりました。そこで、乳がんが見つかったのです。

病院の先生から悪性であると告げられた日のことは、今でも鮮明に覚えています。夢を見ているようでした。やはり「がん」という2文字はショックであり、これからどんな日々が待ち受けているのだろうかという不安という言葉で頭の中は埋め尽くされました。ただ大きさは1cmに満たない8mm、ステージ1だったので、少し楽観視した私でしたが、先生から「小さくてもがんはがんですよ」というお言葉があり、緊張したことを思い出します。でも、がん細胞はそこにとどまってくれていたのも、命が続くことに安堵しました。

手術をし、治療もしていただいたのですが、翌年再発しました。もう1度繰り返さなければならぬ恐怖、不安、痛み。なんという人生なのだろうと思いました。再発とか転移という言葉は怖かった。それがまさか自分の身に起ころうとは……。

しかし、私の乳がんはそれで終わりませんでした。さらに次の年、2度目の再発。初期のがんだったはず、早期発見でラッキーな患者だったはずでした。最初にかんが見つかった時よりも深刻な事態が待ち受けているだろうと覚悟はしていましたが、先生から全摘の話があった時は、初めて先生の前で泣きました。でも悩むことはありませんでした。私にはまだ10歳にも満たない娘がいる、娘のために命を優先しなければ！娘が成人するまでは死ぬわけにはいかない、生きていなければと、右胸とさよならすることを決めました。

私は健康番組にずっと携わっていたので、公表を控えていました。でも2度の再発を乗り越えた時に、せつかく生きるか死ぬかの病気になったのだから、この経験を話すことで誰かの力になれるのではないかと。命の大切さを1人でも多くの方に伝えていくことができたなら、この闘病生活も私の人生の中で決して無駄な日々ではなかったと思えるかもしれないと考え、再建手術まで終えたのち公表させていただきました。

人間ドックで見つかったがん……、受けて良かった。今、私は生きている！

改めて検診の重要性を感じています。早期発見、治療のために皆さんも是非検診に行ってください。